第１号様式（第６条関係）

　令和　　年　　月　　日

**≪注釈・例示（赤文字）は削除して作成してください。≫**

（宛先）

　京 都 市 長

　申請者　所在地　〒

　　名　称（大学名等）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　○○大学大学院○○研究科

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　代表者名

京都　太郎

印鑑不要

京都発革新的医療技術研究開発助成金交付申請書

京都市補助金等の交付等に関する条例第９条の規定に基づき、助成金の交付を受けたい

ので、関係書類を添えて申請します。

テーマ：　皮膚○○に関する新規医用材料の開発

分　類：１０、１６　　※申請要領 別紙「分類について」 参照

１　申請者の概要

|  |  |
| --- | --- |
| （フリガナ）研究責任者名 | キョウト　タロウ京都　太郎 |
| 生年月日 | 昭和　平成　　　年　　月　　日 |
| 所属 | ○○大学大学院○○研究科 |
| 役職 | 教授 |
| 連絡先 | 住所 | 〒 |
| 電話番号 | －　　　　－ |
| FAX | －　　　　－ |
| E-mail |  |
| URL |  |
| 共同研究者 | ※他研究室又は企業と共同研究する場合に記載してください。※本欄記載の共同研究者が要した旅費は助成対象となります。○○大学大学院○○研究科 役職　氏名株式会社○○　開発部　役職　氏名 |
| 経歴 | **（研究実績等を記入してください。）** |

２　助成対象経費の内訳(学内規定に準じて御記入ください)

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 費　目 | 内　　訳 | 金額（千円） |
| 直　接　経　費 | 設備・備品費直接経費の５０％以下（上限：５００千円） | ○○分析装置（資産計上される物品等） | ４００ |
| 材料・消耗品費 | ○○用試薬、○○用カラム（資産計上されない物品等） | ３００  |
| 労務費・謝金 | 研究助成アルバイト | １００  |
| 旅費・交通費 | 学会発表（※国外は対象外） | ５０  |
| その他費用 | 学会参加費（※学内規程によっては旅費扱い）外注加工費 | １５０  |
| 間　接　経　費直　接　経　費　の３　０　％　以　下（上限：３００千円） | 内訳の記入不要 | ３００※大学研究者のみ記載  |
| 合　計 |  | １，３００  |

３　申請テーマに関する申請者の実績

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 論文発表の有無 | □　有　□　無 | （「有」の場合、題名、全著者名、掲載雑誌名、巻、年、ページを記載してください。）　※　３件まで記載可　※　写しの提出不要 |
| 特許出願の有無 | □　有　□　無 | （「有」の場合、出願又は公開番号、名称、発明者名、出願人名を記載してください。）　※　３件まで記載可　※　写しの提出不要 |

４　申請テーマの概要

　（１）申請テーマの概要を３００文字以内で御記入ください。

|  |
| --- |
| （背景・現状、 助成事業における目標などを簡潔に記載）３００文字以内厳守 |

　（２）申請テーマの研究開発計画を３００文字以内で御記入ください。

|  |
| --- |
| （研究開発計画を研究の流れが分かるように記載）３００文字以内厳守 |

５　申請テーマの詳細

（１）研究開発計画

|  |
| --- |
| （今回の助成期間内における研究開発内容、スケジュール、想定される問題点について、具体的に記載。図の貼り付け可。）「５ 申請テーマの詳細」（１）～（４）は、**合計４ページ以内**に収まる範囲で記載してください。 |

（２）新規性及び優位性

|  |
| --- |
|  |

（３）研究開発終了後の実用化・事業化に向けた計画

|  |
| --- |
|  |

（４）波及効果

|  |
| --- |
| （市場規模の拡大、シェアの獲得、雇用創出などについて想定される効果を記載） |

６　過去の当助成事業への申請実績

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 申請の有無 | □　有　□　無 | （申請「有」の場合、申請年度、テーマを記載） |
| 採択の有無 | □　有　□　無 |

**※提出の際はPDFに変換してください。（2MB・9ページ以内）**